



11月行事		食堂 営業
1	月	○
2	火	○
3	水	
4	木	○
5	金	○
6	土	
7	日	
8	月	○
9	火	○
10	水	○
11	木	○
12	金	○
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	○
17	水	○
18	木	○
19	金	○
20	土	
21	日	
22	月	○
23	火	
24	水	○
25	木	○
26	金	○
27	土	
28	日	
29	月	○
30	火	○

「試験」

3学期制をとる本校では、2学期の折り返しとなる10月中旬に中間考査を行いました。こうした年間5回の定期考査は授業で学んだ知識や技能の理解度、習熟度を測定し、学習評価や今後の学習指導の重要な資料となるものです。同じ「試験」でも定期考査は大学等の入学試験や英語検定などの検定試験とは異なる性質を持っています。

入学試験や検定試験は合否を判定することを目的としており、100点で合格しても60点で合格しても、結果は同じ合格です。一方、定期考査は100点と60点ではそ

校長 奥山 勝巳

の後の学びに違いがあります。知識や理解、技能の修得には蓄積が必要ですから、60点の人は100点の人に比べて40点のビハインドを背負って次に向けてのリスタートを切ることになるのです。テストを「できた」「できなかった」に二分するだけだったり、「〇点だった」だけで終えてしまっていては次につながりません。結果をしっかりと分析して、早めにビハインドを解消していくことが大切です。入学試験や検定試験はある種のゴールですが、定期考査は生涯続く学びの途中経過ですから。

人権教育講演会の開催

10月7日(木)、人権教育講演会が開催されました。講師は元パラリンピック選手で一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会理事の岡崎明美様で、「生きる喜び それはチャレンジ」という題でお話いただきました。コロナ感染症拡大予防対策として体育館では3年生を含む7クラスが講演を聞き、のこりの1年生と2年生はリモートで教室で講演を聞きました。

全盲というご自身の体験をもとに、多くの障がいのある方に生きる勇気を持ってほしい、生徒に対しては健康に注意して頑張ってくださいと述べられました。最後に生徒を代表して3年生の生徒会役員がお礼の言葉を述べました。岡崎様、ありがとうございました。



読書感想文丹有高校支部 課題読書の部 優秀賞受賞

9月28日に行われた第67回青少年読書感想文兵庫県コンクール丹有高校支部審査会において、本校3年の藤井菜永帆さんが課題読書の部で優秀賞を受賞しました。作品名は「変化に向かって」で、書名は『水を縫う』（著者：寺地はるな、発行所：集英社）でした。10月7日の人権講演会の後、3年生の学年集会で表彰が行われました。

ブックカフェ開催のお知らせ

本校では、平成30年度より図書館を利用した「ブックカフェ」を開催しており、本年度も下記の日程で、感染症予防に十分配慮して開催いたします。

本に囲まれた空間で人と人が語り合い豊かな時間を過ごしていただき、学校図書館が新たな出会いの場となるように図書委員会が企画しました。図書委員がブックトークを行い、放送部が司会進行を担当し、美術部がポスターを描き、茶華道部、調理部によるお茶とお菓子のサービスもあります。

- 1 日時：令和3年11月19日（金）
15：50～16：30
- 2 会場：図書館（本館2階）